

JA「フォトコンテスト」開催のお知らせ

テーマ

『芽室町の四季を感じる風景、農・食などの心温まる行事、祭事風景』

2025年版JAめむろ「オリジナルカレンダー」に掲載される写真を募集いたします。

入賞作品は、JAめむろオリジナルカレンダーに掲載されるほか、JA広報誌を通じて組合員や地域の方みなさまへお知らせいたします。

●応募資格

JAめむろの正組合員・准組合員・役職員およびその家族、その他芽室町在住の方
※青年部・女性部など組織単位での応募も可能です。

※高校生以下が応募する場合は、保護者の承諾が必要となります。

●撮影場所

芽室町内に限る

●お問い合わせ先

芽室町農業協同組合 管理部 管理経理課

「JAめむろフォトコンテスト」係

電話：0155-62-2311（管理経理課 大坂・大和屋）

詳細についてはJAめむろホームページ(<https://www.ja-memuro.or.jp>)
をご確認ください。 ホームページは右下の二次元コードからも閲覧できます。

第12号で寄せられた読者の声

これまでに、「読者からの感想等を紹介するコーナーが欲しい」というお声をいただいていたので、今号よりコーナーを開設します！

①ダイイチ芽室店にJAのATMを設置してほしい。
(80代・男性)

〈JAより〉いつもJAめむろATMをご利用いただき誠にありがとうございます。現在、ダイイチ芽室店には、JA提携ATMであるセブン銀行ATMが設置しておりますのでご利用ください。

手数料 9:00～18:00 110円（平日・土日共通）
18:00～ 220円（平日・土日共通）

②（生乳需要回復、酪農経営の農業所得改善のために、飲むべき牛乳の本数）3本とは1Lパック3本のことですか？
(50代・女性)

〈JAより〉1人あたり、年間で1Lパック3本を消費いただくことで需要回復、所得改善に繋がります！

③今回の応募先の郵便番号がわからなかった！

(70代・女性)

〈JAより〉ご指摘いただきありがとうございます。ご迷惑をおかけし申し訳ございません。今後このようなことが無いよう努めてまいります。貴重なご意見ありがとうございました。

発行/芽室町農業協同組合 住所/北海道河西郡芽室町西4条南1丁目1番地9
TEL/0155-62-2311 FAX/0155-62-5392 <https://www.ja-memuro.or.jp>



JAめむろInstagram



JAめむろHP

締切

8月30日(金)

消印有効

昨年のカレンダー表紙



昨年の最優秀賞作品

締切

7月19日(金)

消印有効

JAめむろからプレゼント

読者の声をお送りいただいた方の中から抽選で、**大型堆肥センターで作られた堆肥「芽ぐみのくん(10kg 1袋)」**を**5名様**にプレゼントいたします！

下記内容を記入の上、官製ハガキもしくはGoogleフォームよりご応募ください。沢山のご応募お待ちしております！

【記載内容】

①郵便番号・住所 ②氏名 ③電話番号
④年齢 ⑤性別 ⑥ご利用のJA店舗
⑦のうきょう通信のご感想 ⑧JAへのご意見・ご要望

【宛て先】

〒082-8650
河西郡芽室町西4条南1丁目1番地9
JAめむろ 営農部 営農情報課「のうきょう通信」係

Googleフォームでの回答：

右の二次元コードを読み取っていただくか、
<https://forms.gle/ivraBHv2insnvr5n6>
のリンクを検索のいただき、回答願います。

商品の発送をもって当選の発表に代えさせていただきます。
また、芽室産農畜産物をメインに使用したオススメ簡単レシピがありましたら、レシピコーナーにて紹介させていただきますのでFAX(62-6591)等にて是非お寄せください！

JAめむろ コミュニティー情報誌

令和6年7月12日発行

次のおいしさへ。
JAめむろ

第13号

のうきょう通信



「JAめむろの施設」を知ろう！

■「のうきょう通信」第13号の発行にあたり



代表理事組合長

廣江 英幸

芽室町の皆様におかれましては、日頃よりJAめむろの事業にご理解、ご利用いただいておりますことにお礼申し上げます。

さて私、6月14日開催の第29回通常総会において、役員の選任をいただき、再度組合長として二期目を担うこととなりました。また、女性役員3名も選任され、新たな役員体制でJAの運営がなされます。組合員や准組合員の営農と生活を守るため、各事業運営に注力してまいりますので、今まで同様に各事業をご利用していただきますようお願いいたします。

のうきょう通信も今回で13号となり、JAを知っていただく広報誌として定着してきたかと思いますが、新しい企画を取り入れ、楽しく、ためになる紙面にしたいと考えておりますので、今後ご期待ください。

今回ご紹介するのは、普段目にする事のない「堆肥センター」、「哺育育成施設」や、愛菜屋東側の「緑のめぐみ館」です。この紙面を通じ、JAのおこなっている事業に関心を持っていただき、芽室町農業の理解を深めていただければ幸いです。

また、JAめむろは、燃料事業や金融事業、愛菜屋運営などで、地域の応援団として事業推進してまいりますので、農業者だけでなく、町民の皆様にも芽室町農業の応援団となっていただくことをお願いいたします。

読者提供 * 簡単レシピ

* とうきびのパンケーキ *



【ポイント】

子どもの頃のおやつだったというレシピをお送りいただきました！とうきびのプチプチ食感と甘味に、オリゴ糖とバターという最強タッグが加わった満足感のある一品です😊 お好みでチーズを入れたり、ホイップクリームを添えてもGood🌟

【材料】

・とうきび（生）	1本
※冷凍・缶詰（小1缶）でも可	
・ホットケーキミックス	200g
・牛乳	200cc
・サラダ油	適量
・オリゴ糖（黒蜜でも可）	適量
・バター	適量

これからの時期、旬のスイートコーン🌽を使ったお菓子はいかが？

【作り方】

- とうきびは、茹でて芯からはずしておきます。
※包丁を芯に添わせて切ると簡単にできます！
※冷凍コーンの場合…レンジで軽くチンして解凍してください。
缶詰コーンの場合…しっかり水切りをしてください。
- ホットケーキミックスにとうきび、牛乳を入れ混ぜ合わせる。
※牛乳を少しずつ入れて混ぜるとダマになりにくいです！
- 熱したフライパンにサラダ油を引き、お玉1杯分の生地を入れる。火力は弱火。
- 両面焼きあがったら皿にのせ、オリゴ糖をかけ、バターをのせたら出来上がり！

芽室町哺育育成施設

芽室町哺育育成施設は、町とＪＡで運営しており、酪農家から子牛を預かり、育成・種付けをおこなう施設です。酪農家の労働力軽減を目的として、令和３年５月７日より稼働を開始しました。

生後３日齢から分娩２カ月前（22カ月齢）までの牛が預けられており、その数、令和５年度末時点で619頭。

酪農家は動物を相手にする仕事であり、季節問わず一年を通して仕事があります。哺育育成施設に子牛を預けることで、負担軽減に繋がります。

人間に置き換えると、幼稚園から大学の一貫校に子供を預けることで、親はその間に家事などに専念できる…というイメージしやすいかもしれません。



↑ この施設の牛舎の天井には、消毒液が噴霧される装置があり、定期的に噴霧することで衛生管理を徹底しています。



↑ 上空から見た芽室町哺育育成施設
*住所： 芽室町北明西８線



↑ 1,060頭を収容できる大きさがあり、令和５年度末時点で619頭が収容されています。



牛舎は、定期的に天井から電化次亜水を噴霧しているから清潔が保たれているよ！
僕たちに害はないから安心してね！

大型堆肥センター



↑ 大型堆肥センター
*住所： 芽室町渋山７線80番6



↑ 集められた牛ふんと野菜残さ（JAめむろフーズで出た枝豆など）は、水分量が多いため、攪拌しながら約２週間ほど乾燥させます。



← 堆肥から出る水蒸気でわかりづらいたと思いますが、上の写真の専用攪拌機で山積みになった堆肥を攪拌して発酵を促します。

専用攪拌機

大型堆肥センターは、芽室町哺育育成施設と同様に、町とＪＡで運営している施設です。

「一部の畜産農家では自家消費できない余剰ふん尿を抱えており、その処理問題が望まれていたこと」、「野菜の生産振興に伴い、残さ（選果外品）処理が適切におこなわれず、環境負荷が指摘され始めていたこと」、「多くの組合員にとって、堆肥利用を阻害している要因として①手間がない、②散布機が無い、③一般的な堆肥はあるが良質な堆肥がない」などの背景から建設が決まり、平成16年４月１日より本格的に稼働されました。

ここに運ばれてきた原料（肉牛ふん８割、乳牛ふん１割、野菜残さ１割）は、第１次発酵施設にて高温発酵をおこないます。この時の堆肥内温度は、60度～70度にも達します！

１カ月ほど発酵させると、次は２次発酵施設へ移動させ、中温ですらにじっくり発酵させます。その期間は、約２カ月。専用攪拌機で攪拌させることで空気に触れさせ、発酵を促します。

この発酵をしっかりとこなうことで、牛ふん特有の臭いが消え、さらには、放線菌という堆肥固有の細菌群が増殖し、良い堆肥となります。放線菌は目に見えない菌ではありますが、芽室町の大型堆肥センターの堆肥は、肉眼でも白く見えるほど放線菌が沢山あり、良質な堆肥となっています！！



↑ 白っぽく見えるのは放線菌！

２次発酵まで終えた堆肥は、約３カ月の時を経て製品になります。

「芽ぐみのくん」という商品として店頭に並ぶ他、野菜農家など150件ほどの生産者の畑へ散布されます。



腐熟バーク堆肥『芽ぐみのくん』は、資材センター（ＪＡめむろ本所北隣）、愛菜屋で購入できます！

緑のめぐみ館

ＪＡめむろの農畜産物加工調理体験施設「緑のめぐみ館」は、どなたでも利用することができる施設です（営利目的不可）。回転鍋や大きなオーブンなど、豊富な調理器具を使用し、作り置きのおかずやお菓子作りに利用してみませんか？

また、定期的に料理講習会や、親子を対象にしたお菓子教室も開催しています！

栄養士（指導員）が常駐しているので、レシピや利用についてなど、お気軽にご相談ください！



芽室町東めむろ３条南１丁目
「愛菜屋」東隣
問：０１５５－６２－５３７９

十勝の美味しい食材を使った講習会★
開催情報はＪＡめむろ公式Instagramでもご紹介！



親子お菓子教室



味噌作り講習会

利用料金表

		単位： 円
対 象	内 訳	利用料（税込）
一般利用者	個人（１～９名）	1,210
	団体（10名以上）	12,100
正組合員及び家族	個人（１～９名）	770
	団体（10名以上）	7,700
ＪＡが所属組織のイベント準備 ＪＡ・ <u>学校</u> が主催する食育事業 小中学生	団体	3,850
		無料
	個人	770

第29回通常総会 開催される

６月14日、ＪＡめむろの第29回通常総会が芽室町健康プラザにおいて開催されました。

令和５年度事業報告や剰余金処分案・役員選任など原案どおり決定された他、飼料高騰の高止まりや酪農における減産などの厳しい環境下で令和５年度農業粗生産額が耕・畜合わせ363億円と過去最高の令和３年と同額の結果となったことも報告されました。

また、今回の総会では、議長団としてＪＡめむろ初の女性議長が選出されたほか、任期満了に伴う役員の選任では女性理事３名を含む理事15名、監事４名の選任も原案通り承認され、総会を終了しました。



▲ 新たに選任された役員

◀ 初の女性議長(左)



女性理事３名 ▶